

広島県

学校

広島県立日彰館高等学校

学校運営協議会

日彰館高等学校学校運営協議会

令和元年 7月12日 設置

委員構成

同窓会会長
自治振興会連合会事務局長
地元行政職員
地元中学校長
大学職員
保護者・PTA関係者
など 7名

会議回数

年間平均 6 回程度

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員 0 名 (0 名)

地域コーディネーター 1 名 (1 名)

地域学校協働活動

日彰館高等学校地域学校協働活動

「衆縁和合」による教育活動の広がり

背景・取組概要

◆「自立・協働」を教育目標とし、自他の尊厳と価値観を認め、協働して物事を進める生徒、探究心を持って生涯にわたって学び続ける生徒の育成を目指す。そのため、地域や世界と関わる機会を増やし、多様な背景や価値観等に接し、尊重すること、地域の実情を知り、その課題を自分事として解決を考えること、これらを教育課程として編成するために多様な視点や人材、支援が必要であった。
⇒**吉舎をフィールドとした、「日彰館だから」「吉舎だから」できる学びの実現を「社会に開かれた教育課程」によって目指す。**

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会
年6回開催する学校運営協議会では、育成したい生徒像の共有をもとに、地域の課題を探究的な活動の題材につなげる等の協議がなされ、地域と連携した教育活動の可視化・共有ができています。また、各委員には学校運営協議会への参加だけでなく、下記のような**本校の教育活動に直接的、間接的に携わってもらっている。**

- 大学職員の委員を講師とした「台湾講座」
- 自治振興会と連携したイベントのボランティア活動
- 地元中学校を中心とした吉舎地区の保育所、小学校、高校が連携した教育活動の推進 等

◆地域学校協働活動
過疎化が進む吉舎地区において、高校生により深く地域を知ってほしいという地域と学校の願いから、地元行政、自治振興会、活性化団体が、それぞれの立場で地域の課題と魅力を語ってもらう会をもっている。それを踏まえて、生徒が地域について知っていることをまとめ、フィールドワークを行っている。こうした取組は、留学生を招いて実施する国際交流イベント「吉舎おもてなしプラン」において、自分たちの文化や地域の魅力を紹介することにつながっていく。
地域の方からの学びが、地域の課題を自分事ととらえ、将来にわたって地域社会の維持・発展に寄与する人材の育成のスタートとなっている。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施
学校運営協議会から出た協議内容を**各委員の所属等に持ち帰り、検討したり活動につなげたりしてもらっている。**具体的に、下記のような活動として地域の活性化につながる取組となった。

- 同窓会：生徒を主体とした周年行事の実施、吉舎駅の活用
- 三次市吉舎支所：第3次三次市総合計画における支所での取組における日彰館支援の検討 等

また、吉舎地域では毎月1回、地域の行政、自治振興会、文化団体、学校など約30の団体が集まって情報交換会を行っている。そこで得た情報や人脈を教育活動の更なる充実に活用している。

成果・効果

◆学校運営協議会を軸に、**学校と地域がこれまで以上に協働**するようになり、その広がりができた。

◆**地域の良さに気づき、地域や学校に愛着を持つ**生徒が高い割合で存在し、地域を支える人材を育成できている。

生徒アンケート（3学年）の肯定的な回答		R3	R4	R5
指標1	地域に関する学習や地域活動を行うことで、地域のよさに気づくことができた	93.3%	92.6%	90.2%
指標2	通っている高等学校の地域が好きである	86.6%	89.7%	82.9%